



# LAME YARN CONCIERGE SHEET

ラメ糸コンシェルジュシート

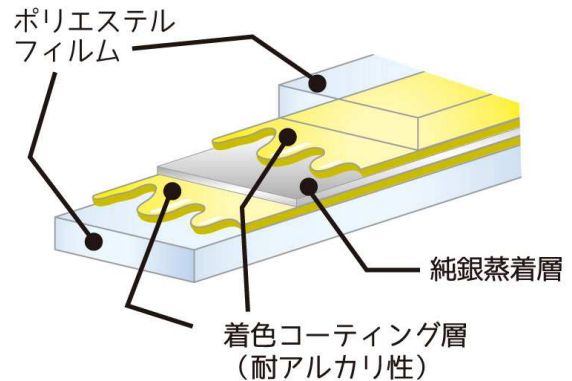
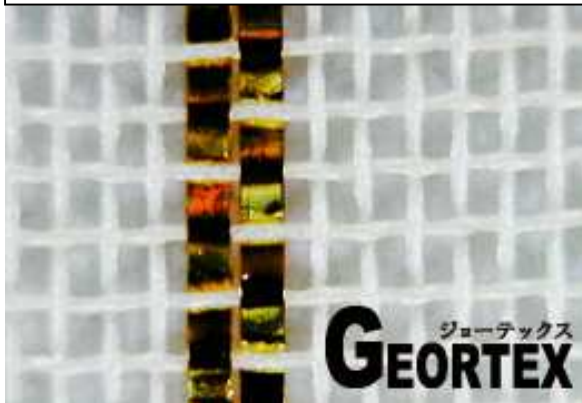
No. 2014020709



## 「セレン用ラメ糸」「減量ラメ糸」「ジョーテックス」って何？

### アドバイス内容

減量加工された生地に入っているジョーテックス



後加工が必要な織編物へラメ糸を使用されることが多い人は「**セレン用ラメ**」という言葉に耳にされることがあります。「セレン」用ラメ＝「精練」用ラメ糸ということです。絹精練・綿精練・シルケット加工・アルカリ減量加工・ソーピングなど色々な意味を含みます。共通しているのは「アルカリ系の後加工」ということです。カーテンなど防炎加工を施す生地にも「セレン用ラメ糸が必要」と認識されている事が多いです。物性が高いラメ糸の代名詞にもなっています。

特に北陸産地ではポリエステル織編物へのアルカリ減量加工を施すことが多いので「**ゲンリョウラメ**」と呼ばれます。

泉工業では、耐アルカリ性の後加工や、反応染色による後染、漂白、ストーンウオッシュなどの洗い加工などをされる方には「ジョーテックス」というラメ糸をおすすめしています。

この**ジョーテックス**が、「**セレン用ラメ**」であり「**ゲンリョウラメ**」なのです。

ラメ糸の物性などを上げるためには、「1PLYより2PLYを使用の方が良い」と書かれた文献がよくあります。蒸着金属にも種類があり、「アルミニウム」より「純銀」のラメ糸の方が染色や加工に持ちやすい、ということを知られている方も多いです。しかし、**最も大切なのは「着色工程でどのような目的をもって樹脂が塗工されているか」**です。「ジョーテックス」や一般的なセレン用ラメ糸は「2PLYで純銀蒸着」である事が多いですが、ただ「2PLYで純銀蒸着」のラメ糸があったとしても、後染めにも後加工にも耐えません。きちんと「耐アルカリを目的とした樹脂」が塗工されていないと意味がないのです。そのような樹脂の内容が、各ラメ糸メーカーの個性であり工夫であり企業秘密の部分です。

ただの純銀蒸着ラメはすぐ硫化してしまい使い物になりません。万が一、ラメ糸を大量に使用する企画があるからといって「2PLYで純銀蒸着」のみの条件で出来るだけ安価にラメ糸を製造させたとしても、物性を備えない商品になってしまいます。

そして「樹脂」の材料中にホルマリンが含まれているものが多いので、「ラメ糸はホルマリンを入れて製造しているものが多い」という結果になります。樹脂の存在を理解しないと「ホルマリン」が何故含まれているのかという事も理解しにくいです。ホルマリンを使用しない製品も最近製造されるようになってきています。

ラメ糸のブラックボックスの部分を理解していくと、商品の品質向上につながります。



泉工業株式会社

<http://www.izumi-kingin.com/>

〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原19

TEL : 0774-52-0709 担当：福永・山田

アルカリ減量加工された ポリエステル・ジョーゼット (ラメ糸入り)



耐アルカリ減量加工用 ラメ糸  
「ジョーテックス」 2PLY、純銀蒸着  
130t切 25ミクロン厚



泉工業株式会社

<http://www.izumi-kingin.com/>

〒610-0114 京都府城陽市市辺西川原19  
TEL : 0774-52-0709 担当：福永・山田